

「総合防犯士会」（ASE SIIアセス・成田純一会長）は、総合防犯設備士の資格取得者有志の集まり（任意団体）として2009年に設立された。活動内容は、受験セミナーの講師として防犯設備士の指導を担当するなど日防設の資格制度事業の支援が主軸となっている。

「SECURITY SHOW」（主催：日本経済新聞社）には1995年から、毎年「防犯相談コーナー」を出展して無料の防犯相談コーナーを実施、建物の防犯診断や防犯設備の導入アドバイスは無料でやっている。調査研究の発表の場としてセミナーやパネルディスカッションも開催してきた。

「SECURITY SHOW 2021」は3月9日から12日まで東京ビッグサイト（江東区）で開催された。来場者数は主催者発表で3万5200人と前回の2分の1以下、コロナ禍で規模縮小となったが、「総合防犯士会」は、会場内の特設ステージでセミナーを開催、展示ブースを出展するなど来場者にアピールした。

総合防犯士会は3月11日、会場内特設ステージで「商業施設の防犯対策」と題したパネルディスカッションを開催。成田会長が司会進行を務め、パネリストとして警視庁

生活安全部・濱田勝行管理官、日本万引防止システム協会・稲本義範会長、総合防犯士会・小林宜生理事の3人が参加した。万引犯罪の実態と対策、監視設備・機器などについて意見を出し合った。



総合防犯士会が主催したセミナー

法人化、総会開く

総合防犯士会は2021年1月、一般社団法人として新たなスタートを切った。

3月10日、東京ビッグサイトの会議棟で一般社団法人となつて初の定期総会を開催した。成田会長は「長年の悲願である当会の法人化を実現するため、日防設に助言をいただきながら準備を進めてきた。日防設と連携し支援する活動を行っていききたい」とあいさつした。

新役員は次の通り（敬称略）。

【会長】成田純一（日防設

特設ステージでは10日、日防設が総合防犯設備士20周年記念セミナーを「総合防犯設備士と防犯優良住宅制度」の演題で開いた。日防設総合防犯設備士委員会・永井健三委員長と警察庁生活安全企画課・今井俊博都市防犯対策官、福岡県防犯設備士協会・藤満弘事務局長、1級建築士・青山功氏、ミサワホーム総合研究所・相川隆氏らが出席した。日防設はセミナーの中で総合防犯設備士委員会の中に防犯優良住宅認定制度分科会を設置することを発表した。防犯性能に優れた住宅を認定する仕組みについて、普及促進のための調査研究、情報交換を行う。

【副会長】平野富義（日防設理事）、友田彰夫（京都府防犯設備協会副会長）、山田智典（埼玉防犯設備士協会専務理事）



一般社団法人総合防犯士会の新理事。右から5人目が成田会長